

問題・解答
用紙番号

41

の解答用紙に解答しなさい。

日 本 史

〈受験学部・学科〉

3科目型 受験者 **3科目型と2科目型の併願受験者**

法学部, 国際学部, 経済学部, 経営学部, 現代社会学部,
農学部【文系型】(食品栄養学科・食農ビジネス学科)

問題は100点満点で作成しています。

I 次の文章を読み、下の問いに答えよ。(25点)

凡そ戸は、戸を以て里と為よ。里毎に長一人置け。戸口を檢校し、農桑を課殖し、非違を禁察し、賦役を催駈することを掌る。若し山谷阻り險しくして、地遠く人稀ならむ処には、便に随ひて量りて置け。

凡そ計帳造らむことは、年毎に六月の卅日の以前に、京国の官司、所部の手実責へ。具に家口・年紀を注せよ。

凡そ戸籍は、六年に一たび造れ。十一月の上旬より起りて、式に依りて勘へ造れ。里別に卷と為せ。惣べて三通写せ。(中略)二通は太政官に申し送れ。一通は国に留めよ。

(『令義解・戸令』)

凡そ田は、長さ卅歩、広さ十二歩を段と為よ。十段を町と為よ。段の租稲二束二把。町の租稲廿二束。

凡そ口分田給はむことは、男に段。女は三分が一減せよ。五年以下には給はず。其れ地、寛に、狭きこと有らば、郷土の法に従へよ。易田は倍して給へ。給ひ訖りなば、具に町段及び四至録せよ。

(『令義解・田令』)

A：これは律令で定められた人民の支配・管理を示した史料ですね。

B：はい、朝廷は人民を戸籍や計帳に登録することによって、律令体制による支配を国のすみずみまで及ぼそうとしました。登録された公民には口分田が与えられました。史料にも記されているように、男性には 段、女性にはその3分の2が支給されました。これを 班田収授法とといいます。

A：民衆に土地を与えたのですか。それは良い政策ですね。

B：ただし、その一方で重い負担も負わせました。口分田などの収穫から %程度の稲を収める租や、絹・布や諸国の特産品を賦課した調、歳役の代わりに布を収めさせる庸があり、このほか労役として雑徭や兵役も課せられました。

A：ずいぶんと過酷だったのですね。人々はそれに堪えたのですか。

B：中には堪えきれず逃亡したり、途中で飢え死にする者もいました。3年間の兵役として防人に徴発された人たちが家族との別れを詠んだ歌が『 』に載せられています。

A：九州周辺では昔から大陸や朝鮮半島との間で戦がありましたよね。

B：九州は 東アジアと日本（倭）をめぐる様々な出来事の舞台となってきました。 が左遷されたことで有名な大宰府や博多はさながら国際都市のようだったと言われています。地理的な環境から畿内よりも朝鮮半島と政治的・経済的・文化的に親和性が高かったと見る研究者もいるようですよ。

問1 空欄 ～ に入るもっとも適切な語句や数字を、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- | | | | | |
|---|---------|-----------|------------|------------|
| ア | (a) 十 | (b) 二十 | (c) 五十 | (d) 百 |
| イ | (a) 一 | (b) 二 | (c) 五 | (d) 十 |
| ウ | (a) 3 | (b) 5 | (c) 8 | (d) 10 |
| エ | (a) 万葉集 | (b) 古今和歌集 | (c) 小倉百人一首 | (d) 新古今和歌集 |
| オ | (a) 橘諸兄 | (b) 藤原仲麻呂 | (c) 菅原道真 | (d) 和気清麻呂 |

問6 下線部⑤「東アジアと日本（倭）をめぐる様々な出来事」について述べた次の文Ⅰ～Ⅳについて、古いものから年代順に配列したものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

Ⅰ 大宰府を防衛するために水城や大野城を築いた。

Ⅱ 女真族を中心とする海賊が対馬・壱岐から博多湾に侵入したが、大宰権帥藤原隆家らによって撃退された。

Ⅲ 倭と旧百済勢力の連合軍が、新羅・唐の連合軍と戦って大敗した。

Ⅳ 筑紫国造が新羅と通じて反乱を起こした。

(a) Ⅲ - Ⅰ - Ⅳ - Ⅱ

(b) Ⅲ - Ⅳ - Ⅱ - Ⅰ

(c) Ⅳ - Ⅲ - Ⅱ - Ⅰ

(d) Ⅳ - Ⅲ - Ⅰ - Ⅱ

Ⅱ 次の文章を読み、下の問いに答えよ。(25点)

豊臣(羽柴)秀吉は、主君織田信長が本能寺の変でたおれた後、変を起こした明智光秀を破り、信長の旧家臣団における発言力を上昇させた。さらに最有力の重臣柴田勝家を で破り、信長の後継者としての地位をほぼ確実なものとした。1585(天正13)年に藤原氏以外で初めて關白に就くと、惣無事令を発して停戦命令を下し、以後、天皇や朝廷の権威を利用して大名を服属させていった。同年に四国の 、その二年後には九州の島津氏を臣従させた。さらに京に 聚楽第を築き、1588(天正16)年に天皇を招いて諸大名を集め、忠誠を誓わせた。

① 全国統一の過程で、1582(天正10)年頃から、天正の石直し、いわゆる「太閤検地」を実施していった。そして、検地帳、国絵図により全国の土地の状況を把握した。こうした土地政策によって豊臣政権では畿内を中心に220万石をこえる蔵入地を確保し、このほか但馬国にある などの鉱山を直轄して財政の基盤とした。加えて、大坂、京都、堺などの 重要な都市も直轄とし、豪商と結びながら商工業にも力を注いだ。

秀吉は宣教師の布教活動に対して、当初は容認する方針をとっていた。しかし、九州平定後にキリシタン大名が長崎をイエズス会に寄付していることを知り、キリスト教への警戒を強め、宣教師の国外退去を命じる、いわゆる「バテレン追放令」を出し、長崎を直轄地とした。さらに1596(慶長元)年、土佐に漂流した の船員を増田長盛が調査したところ、スペインが布教活動を領土拡張に利用していたとする証言が得られ、これが26聖人殉教の引き金となったとされる。

秀吉は晩年になるにしたがって対外的に強硬な姿勢を顕著にしてゆくが、その最たるものが朝鮮出兵である。肥前名護屋に城を築き、ここを拠点に大軍を朝鮮に送った。当初は次々と朝鮮の城を落としていったが、朝鮮義兵や明の援軍による抗戦、 が率いる水軍に補給路を乱され、二度にわたる遠征は失敗に終わった。秀吉は五大老らに政権運営を委ね、1598(慶長3)年に病死した。

問1 空欄 ～ に入るもっとも適切な語句を、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- ア (a) 山崎の戦い (b) 姉川の戦い
(c) 賤ヶ岳の戦い (d) 小牧・長久手の戦い
- イ (a) 北条氏政 (b) 伊達政宗 (c) 毛利輝元 (d) 長宗我部元親
- ウ (a) 佐渡金山 (b) 足尾銅山 (c) 黒川金山 (d) 生野銀山
- エ (a) フェートン号 (b) リーフデ号
(c) サン＝フェリペ号 (d) ノルマントン号
- オ (a) 李鴻章 (b) 李承晩 (c) 李舜臣 (d) 李成桂

問2 下線部①「聚楽第」に招いた天皇は誰か。もっとも適切なものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 後奈良天皇 (b) 後水尾天皇 (c) 正親町天皇 (d) 後陽成天皇

問3 下線部②「太閤検地」に関する記述として、誤っているものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 1段(反)を360歩から300歩に改めて、田畑・屋敷地の面積を1区画ごとに計測し、全国的な統一を図った。
- (b) これまで地域によって様々な枡が使われてきたが、京枡のみとして容積の単位を石・斗・升・合に定めた。
- (c) 地主が一定の範囲で小作料を取る権利を認める一方で、年貢を負担する百姓一人一人が土地を所有する権利を認めた。
- (d) 田畑には生産力に応じて上・中・下・下々などの等級を定めて、これに面積を乗じることによって石高を算出した。

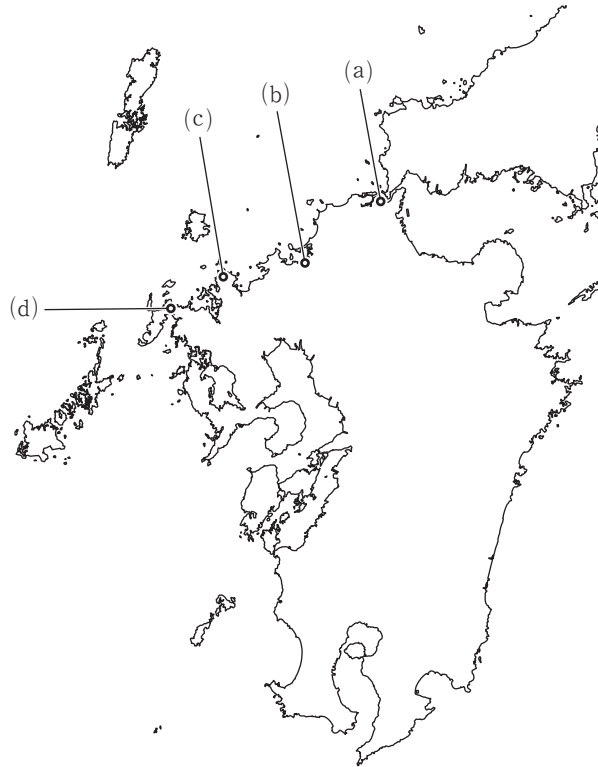
問4 下線部③に関連して、秀吉と関係が深い豪商の説明として、もっとも適切なものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 京都の豪商小西隆佐は財政運用の才能を見いだされ、息子の行長とともに九州平定や朝鮮出兵で重用された。
- (b) 堺の豪商でもある千利休は侘茶を完成させ、秀吉に重用されたが、方広寺の山門上に自分の木像をおいたことを責められて自刃を命じられた。
- (c) 茶人でもある博多の豪商島井宗室は秀吉の九州平定後、博多の復興を命じられ、朝鮮出兵では兵糧集めに携わった。
- (d) 長崎の豪商神屋宗湛は南方貿易や朝鮮出兵の輸送で活躍し、後に鍋島氏の領国経営にも参画した。

問5 下線部④「バテレン追放令」の史料として、もっとも適当なものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 南蛮人子孫残し置かず、^{つまびらか} ^{かた} 詳に堅く申し付くべき事。若違背せしめ、^{もし} ^{はい} 違背せしめ、^{やから} ^{これある} 残し置く族之有におもては、^{その} 其者は死罪、^{とが} ^{けいちょう} 一類の者科の軽重により申し付くべき事。
- (b) いきりす人の内、^{いたずらもの} 徒者之有るに於ては、^{おい} 罪の軽重に依り、^よ いきりすの大將次第申し付くべき事。
- (c) ^{バテレン} 伴天連儀、日本の地ニハおかせられ^{まじく} 間敷候間、今日より廿日の間ニ用意^{つかまつ} 仕り帰国すべく候。
- (d) 伴天連同宗旨の者^{おるところ} 隠れ居所え、^か 彼の国よりつゞけの物送り与ふる事。^{ここ} ^よ 右茲に困り、^{じこん} 自今以後、^{これ} ^{ちょうじ} かれうた渡海の儀、^{おわんぬ} 之を停止せられ訖。

問6 下線部⑤「肥前名護屋」はどこか。地図中の(a)～(d)から一つ選べ。



Ⅲ 次の文章を読み、下の問いに答えよ。(25点)

三代の榮耀一睡えよういつすいの中うちにして、大門ありの跡ひでひらは一里でんこなたやに有なり。秀衡きんけいざんが跡ありは田野ひでひらに成なりて、金鷄山きんけいざんの
み形まづたかたちを残のこす。先高館まづたかたちにのぼれば、北上川きたが南部なんぶより流ながるる大河也たいが。衣川ころもがわは和泉いずみが城じょうをめぐり
て、高館おちいるの下やすひらにて大河おちいるに落入おちいる。泰衡等やすひらが旧跡このしろは、衣ころもが関せきを隔へだてて南部なんぶ口ぐちをさし堅かめ、夷えぞを防ま
ぐと見えたり。偕さても、義臣このしろすぐつて此城このしろにこもり、功名こうみょういち一時じの叢くさむらとなる。「国破こくやぶれて山河さんがあ
り、城春しろにして草青くさあおみたり。」と、笠打かさうち敷きて、時ときのうつるまで泪なみだを落おとし侍まりぬ。

夏草つわものや兵どもが夢つわものの跡

卯うの花かねふさに兼房しらがみゆる白毛しらかな 曾良

(『ア』)

これは松尾芭蕉の『ア』の有名な一節、「イ」の場面である。かつて榮華を極めた奥州藤原氏の都イを訪れた芭蕉が、その盛衰の跡に深い無常の感慨を抱く場面である。藤原三代の榮耀も夢のごとく、館の跡は田野となり、金鷄山だけが往時の名残をとどめている。源義経終焉の地である高館に登った芭蕉は、北上川や衣川の流れを眺めながら、かつての武将たちの功名も草むらに埋もれたことを思い、「夏草や兵どもが夢の跡」と詠む。これは、盛者必衰の理と、歴史の儚さを象徴する句である。また、随行の曾良も忠臣兼房を偲ぶ句を詠み、芭蕉とともに往時をしのび、自然と歴史が交錯するこの地で、芭蕉は人の世のはかなさに深く涙した。

芭蕉は、1689(元禄2)年に江戸・深川を出発し、弟子の曾良を伴って東北・北陸を巡る大旅行に出た。旅の初めには、千住から日光街道を北上し、宇都宮を経て、日光にある東照宮を参詣し、ウを祀る荘厳な社殿に感動した。そこからさらに黒羽方面へと進み、古代に閼所が置かれていたエを通り、奥州へと足を踏み入れた。エは後に寛政の改革を主導した老中主座の治めた地である。奥州に入った芭蕉は、郡山、福島などを経て北上し、仙台に到着した。その途中では塩竈神社を参詣し、塩竈からは船に乗って松島湾を遊覧した。芭蕉は松島の風光明媚な景色に強い感銘を受けた。松島からはさらに北上し、石巻、一関を経て、イへ向かった。その後は日本海側へ抜け、北前船の寄港地として栄えたオを経て、さらに北陸路に入り、越後(新潟)を経て、金沢や福井、敦賀、そして大垣へと至った。この旅を通じて芭蕉は、自然の美しさ、歴史の記憶、人の営みのはかなさを詠み込み、多くの名句を残した。

問1 空欄 ア ～ オ に入る最も適当な語句を下の(a)～(d)から一つ選べ。

- | | | | | |
|---|----------|----------|------------|----------|
| ア | (a) 奥の細道 | (b) 宇下人言 | (c) 折たく柴の記 | (d) 新花摘 |
| イ | (a) 松前 | (b) 十三湊 | (c) 平泉 | (d) 弘前 |
| ウ | (a) 北条義時 | (b) 源頼朝 | (c) 徳川家康 | (d) 足利尊氏 |
| エ | (a) 米沢 | (b) 箱根 | (c) 会津 | (d) 白河 |
| オ | (a) 水戸 | (b) 山形 | (c) 下関 | (d) 酒田 |

問2 下線部①「夷^{えぞ}」に関する記述として、もっとも適当なものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 彼らは10世紀には得宗の支配下にあった安藤氏と交易をおこなっていた。
- (b) 彼らは鮮やかに染色された絹織物を特産品として生産しており、室町時代には蝦夷錦として珍重された。
- (c) 彼らは中国大陸との交易で栄え、海洋国家としての気概と仏教の興隆を謳った銘文のある万国津梁の鐘をつくった。
- (d) 彼らのうち中央政府に帰順したものは俘囚と呼ばれ、馬や金などの特産品の貢納を求められた者もあった。

問3 下線部②「松尾芭蕉」に関する記述として、もっとも適当なものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 元禄文化の最盛期に活躍し、俳諧という庶民の文芸を精神性の高い芸術にまで高めた。
- (b) 化政文化の最盛期に活躍し、感覚的・情緒的・視覚的な表現を得意とし、独自の詩風を築いた。
- (c) 談林派俳諧の創始者で、俳諧を連歌から独立した独自の文芸ジャンルとして確立した。
- (d) 庶民の視点、弱者への共感、哀感とユーモアの融合を目指した庶民文芸を代表する俳人。

問4 下線部③「奥州藤原氏」に関する記述として、もっとも適当なものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 屋外にある木造の五重塔としては法隆寺の五重塔について古い高さ16m余りの塔を持つ室生寺を造営した。
- (b) 宇治に極楽浄土の思想を視覚化した阿弥陀堂建築として知られる平等院鳳凰堂を造営した。
- (c) 浄土庭園を持つ毛越寺や、中尊寺の金色堂などを創建したが、源頼朝に滅ぼされた。
- (d) 本堂に1001体の千手観音像を安置する蓮華王院を造営した。

問5 下線部④「東照宮」の建築様式に関する記述として、もっとも適当なものを下の(a)~(d)から一つ選べ。

- (a) 質素・簡素を尊ぶ「禅宗様」の影響を強く受けており、装飾を極力控えた設計となっている。これは質実剛健な精神を象徴しているとされる。
- (b) 本殿と拝殿を「石の間」または「相の間」と呼ばれる幣殿で繋いだ権現造という設計となっている。
- (c) 中央に正殿を設け、東側には透渡殿が設けられ東対とつながり、西側は透渡殿から西透廊が伸びて釣殿へ続くという設計になっている。
- (d) 仏教寺院に多く見られるように、左右対称で直線的な構造を持つ配置になっており、空間全体が幾何学的に整理されている。

問6 下線部⑤「関所」に関連し、古代三関の一つ鈴鹿の関はどこか。地図中の(a)~(d)から一つ選べ。



IV 次の文章を読み、下の問いに答えよ。(25点)

1871(明治4)年、を断行して国内統一を達成した明治政府は、近代的な軍制の整備に着手した。藩兵を解散させ、その一部を兵部省が管轄する鎮台に配備して反乱に備えた。翌年には、兵部省を陸軍省および海軍省に分離・再編した。また政府は、同年の徴兵告諭にもとづき、翌年1月に国民皆兵を原則とする^① 徴兵令を公布した。

この間、1871年に台湾で琉球漂流民殺害事件が発生した。中華帝国の清朝は先住民の殺傷行為に責任を負わないと表明したため、軍人や士族の強硬論におされた政府は、1874(明治7)年に台湾に出兵した。政府は琉球に清との関係断絶を命じたが、琉球の宗主権を主張する清はこれに反発した。しかし政府は、1879(明治12)年には琉球藩を廃止し^② 沖縄県の設置を強行したため、琉球王国はここに消滅した。

政府は朝鮮にも国交樹立を求めた。しかし清を宗主国とし鎖国政策をとっていた朝鮮は、日本の交渉態度を不満として正式の交渉には応じなかった。1875(明治8)年、日本海軍の軍艦雲揚が朝鮮の首都付近で朝鮮側を挑発し勃発した事件を機に、日本は翌年に日朝修好条規を締結し、朝鮮を開国させた。

国内においては、明治新政府樹立に貢献しながらも、改革の中で旧来の特権を失っていく士族の中には反政府暴動を起こす者もあった。明治政府は軍隊を投入し、これらの士族の反乱をすべて鎮圧した。その後、自由民権運動を経て、1889(明治22)年、大日本帝国憲法が公布され、神聖不可侵とされた天皇は陸海軍の^③ 統帥権を握ることになった。帝国議会が開催されると、第1次山県有朋内閣は、立憲自由党の一部を切り崩して予算を成立させ、陸海軍の増強を図った。その後、日清戦争の勝利と三国干渉を経験した第2次内閣は、民党第一党のの協力を得て、軍備拡張予算を議会に承認させ、そのあとを継いだ内閣も、政党と提携して軍拡を推進した。

このように帝国議会において、政党の存在が軍事予算の成否に影響を与えるようになってきた。そこで、1900(明治33)年に政府は、政党の力が軍部に影響を及ぼすことを阻むために^④ 軍部大臣現役武官制を定めることに成功した。

日清戦争は日本の勝利に終わる一方で、眠れる獅子と呼ばれた清の弱体ぶりを知った欧米列強は、あいついで中国に進出した。1900年に入ると、清では「扶清滅洋」をとる排外主義団体の義和団が勢力を増して各地で外国人を襲い、北京の列国公使館を包囲した。清朝政府も義和団に同調して、列国に宣戦を布告したが、日本を含む列国は、連合軍を派遣して清を降伏させ、翌年には清と北京議定書を結んだ。これを機にロシアは中国のを事実上占領し、の権益を清に承認させた。韓国と陸続きのがロシアの支配下に入れば、日本の韓国における権益がおびやかされるため、日本政府はイギリスと同盟して韓国での権益を守

る方針をとり、1902（明治35）年に日英同盟協約を締結した。日本政府は日英同盟を背景にロシアと交渉を続けるかたわら開戦準備を進めた。国内では、キリスト教徒の内村鑑三や、社会主義者の幸徳秋水・堺利彦らが反戦論をとらえた。世論も当初は戦争を好まなかったが、対露同志会^⑤などが決戦を声高に叫ぶ中、開戦論に傾倒していった。

問1 空欄 ～ に入るもっとも適切な語句を、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- | | | | | |
|---|----------|----------|----------|------------|
| ア | (a) 東京遷都 | (b) 版籍奉還 | (c) 廃藩置県 | (d) 一世一元の制 |
| イ | (a) 漢城 | (b) 濟物浦 | (c) 壬午 | (d) 江華島 |
| ウ | (a) 松方正義 | (b) 伊藤博文 | (c) 桂太郎 | (d) 大隈重信 |
| エ | (a) 自由党 | (b) 進歩党 | (c) 憲政党 | (d) 立憲政友会 |
| オ | (a) 満洲 | (b) 青島 | (c) 遼東半島 | (d) 沿海州 |

問2 下線部①「徴兵令」に関する記述として、もっとも適切なものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 徴兵令では、近代社会の形成に重要な役割を果たす職人や商人に一律に兵役免除を認めていたため、実際に兵役についたのはほとんどが農家の男性であった。
- (b) 徴兵令では、学生と代人料270円をおさめる者などには兵役の免除を認めていたが、後の改正により免役規定は制限された。
- (c) 国民皆兵にもとづく徴兵令は、長州藩出身の大村益次郎が構想したものであり、大村はのちに兵部卿に就いてこれを実現した。
- (d) 徴兵の内容は、士族・平民の別なく、満18歳に達した男性から選抜して2年間の兵役に服させるというものであった。

問3 下線部②「沖縄」に関する記述として、誤っているものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 沖縄県では、琉球藩の土地制度・租税制度・地方制度などが温存され、衆議院議員選挙が実施されたのも1912（大正元）年からであった。
- (b) 政府は沖縄県の安定統治を図るため、東京から官僚を派遣することなく、初代沖縄県知事には、最後の琉球藩王の尚泰を任命した。
- (c) 1945（昭和20）年4月に沖縄本島に上陸したアメリカ軍との間で生じた沖縄戦は、内陸での持久戦となったため、「集団自決」に追い込まれる島民も生じるなど多くの犠牲者を出した。
- (d) 1965（昭和40）年以降、米国がベトナムでの戦争を本格化させ、沖縄は米軍の前線基地の一つとなったが、ベトナム戦争の激化とともに沖縄返還問題が改めて浮上した。

問4 下線部③「統帥権」に関する記述として、もっとも適当なものを下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 大政奉還により江戸幕府の征夷大將軍から軍事権を取り戻した明治政府は、王政復古の大号令により、天皇に軍事に関する統帥権があることを明文化した。
- (b) 統帥権は、形式的に天皇に与えられた天皇大権の一つであったが、実際の軍事関連の実務は閣僚の陸軍大臣および海軍大臣が行うため、内閣にも統帥権が与えられていた。
- (c) 統帥権とは、大日本帝国憲法第11条に規定された天皇大権の一つで、陸軍および海軍の作戦・用兵に関する権限である。
- (d) 浜口雄幸内閣は軍縮の方針に従って、1930（昭和5）年にロンドン会議に参加し、統帥権を行使してロンドン海軍軍備制限条約を締結した。

問5 下線部④「軍部大臣現役武官制」について述べた文について、正しいものの組み合わせを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- I 現役の大將・中將以外は陸・海軍大臣にできない規定であり、第二次世界大戦終結まで改正されることはなかった。
- II 広田弘毅内閣総辞職後に、天皇は組閣大命を陸軍の宇垣一成に下したが、陸軍は軍部大臣現役武官制を盾に陸軍大臣を推挙しなかったため、宇垣は組閣を断念した。

- (a) I：正， II：正
- (b) I：正， II：誤
- (c) I：誤， II：正
- (d) I：誤， II：誤

問6 下線部⑤「幸徳秋水」に関わる出来事について述べた次の文I～IVについて、古いものから年代順に配列したものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- I 開戦論に転じた『万朝報』の記者を離れた幸徳秋水は、堺利彦とともに平民社をおこして『平民新聞』を創刊した。
- II 幸徳秋水は渡米し、帰国すると無政府主義をとなえた。
- III 幸徳秋水らは天皇暗殺計画を企てた容疑で逮捕されたが、その多くは暗殺計画に直接関与してはいなかった。
- IV 日清戦争後に労働運動が展開するなかで、安部磯雄・片山潜・幸徳秋水らが日本最初の社会主義政党である社会民主党を結成した。

- (a) I - II - IV - III
- (b) I - IV - III - II
- (c) II - I - IV - III
- (d) IV - I - II - III